

2024

外国語学習と異文化理解への手引き

《 初修外国語 》



「自由とは常に、違った考えを持つ人のための自由である」

一ひとりのドイツ人が遺したこの言葉は、グローバル化が進む時代に生きる私たちに大切なヒントを与えてくれます。世界を知るためには私たちは「違った考え」、さらには「違った文化」を理解する「自由な」まなざしを持たなければなりません。そしてそれは世界の共通語である英語以外の外国語を学ぶことによってこそ開けてくる視界なのです。

さあ、「英語+ α 」にチャレンジしてみましょう！



岡山大学

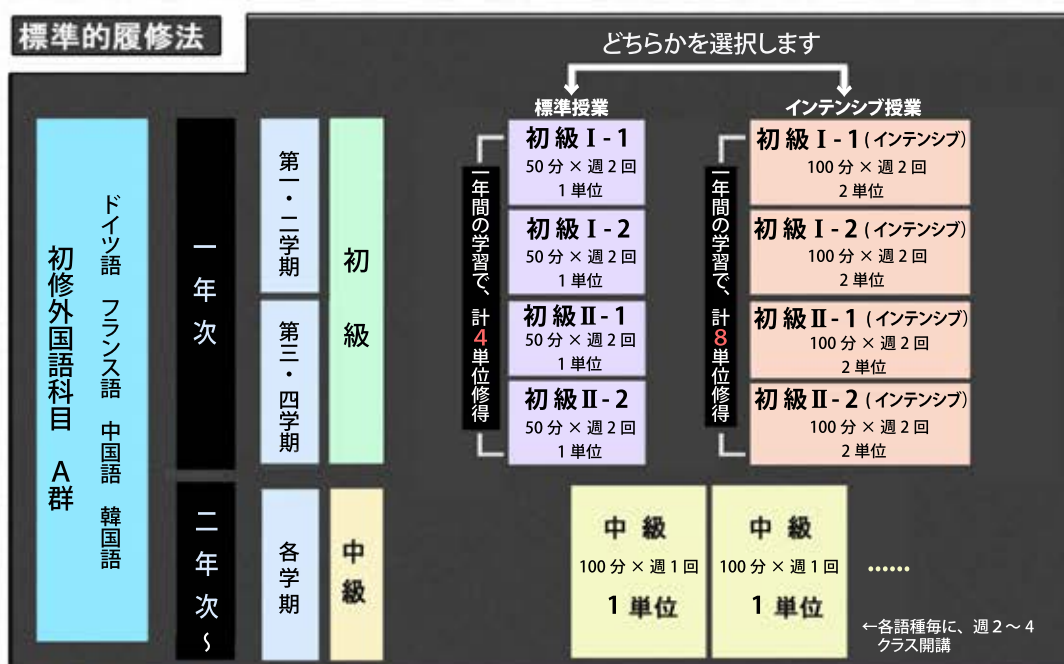
OKAYAMA UNIVERSITY

初修外国語のカリキュラムについて

- 岡山大学の初修外国語教育は次のような能力の育成を目指しています。

- ① 日本語・英語以外の **新たな言語に関する知識と基礎的な運用能力・技能** を習得する。
- ② 日本や英語圏とは異なる国々やその文化についての興味・関心を育み、 **文化の多様性への理解** を深める。
- ③ グローバル化が進行する今後の社会を見据え、 **どのような言語・文化を持つ相手とであっても、コミュニケーションを放棄することなく、協力して物事を成し遂げる姿勢** を身につける。

- 岡山大学では、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語、ロシア語、スペイン語、イタリア語の **計7ヶ国語** を段階的に学ぶことができます。
新たな言語の学習を通じて「世界が広がる」楽しさを、ぜひ体感してください！



授業風景

初級 I / II A群すべての初修外国語において、言語の基本的概要を週100分(50分×2)で1年間学習する標準的授業と、言語と文化とをより深く、より徹底して週200分(100分×2)で1年間学ぶ「インテンシブ」の授業とが設けられており、皆さんはこのどちらかを履修することになります。標準授業は原則として全員が履修可能な時間帯で開かれています。が、「インテンシブ」はクラス数も開講時間帯も限られていますので、全体の授業計画を立てて選択して下さい。

中級 初級で学んだ知識のブラッシュ・アップとステップ・アップをめざして、読解、会話、作文など、バラエティに富む授業が用意されています。語学が本当に面白くなるのが、2年目です。せっかく習った外国語、ここから鍛え上げて本物にしましょう。

★これに加え、ドイツ語・フランス語では初級(会話)、中国語では上級、の授業が開講され、学びの多様性が一段と高まっています。

初修外国語科目
B群

一年次

ベーシック 1～4：

各学期毎、100分授業を週1回開講します。
言葉の初歩を学び、取得単位は学期毎に1単位になります。

*A群の言語(ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語)との同時履修も可能です。

初修外国語科目の紹介

ドイツ語 Deutsch (初級Ⅰ/Ⅱ・中級) : ドイツ語は英語やオランダ語等と同じ、ゲルマン系の言語です。学習が進むと共に皆さんは、その英語等との親近性と、独自の奥深さ、そして微細で精密な造りの妙とを、体感していくことでしょう。そしてその先には、未だ人の心に大きな影響力を持つドイツの豊かな文化が広がっています。ドイツ語をとおしてぜひ自分の世界を広げてみてください。

フランス語 Français (初級Ⅰ/Ⅱ・中級) : 中世の長い期間をつうじてフランス語の単語が英語に流入したためにフランス語と英語には共通の単語が少なからずあります。ただ言語の系統とすればフランス語はイタリア語やスペイン語などとともにロマンス語系のグループに属しています。この系統の言語はその文法体系が互いに非常に似ているばかりか何より音の響きが魅力的です。そんなロマンス語系のフランス語にぜひふれてみてください。

中国語 漢語 Hanyu (初級Ⅰ/Ⅱ・中級・上級) : 漢字が共通なので簡単そうに見えますが、中国語学習の基本はまず発音です。母音・子音は日本語の約4倍もあり、声調（高低アクセント）の区別も厳格です。漢字を見てすぐ音が出るまで練習すると、その面白さが実感できるでしょう。

韓国語 한국어 (初級Ⅰ/Ⅱ・中級) : 韓国語は日本語と類型的に最も近い言語です。語順や文法的なところが類似しているため、最初のハードルであるハングルの読み方と基本単語を覚えれば韓国語に親しみを感ずると思います。

ロシア語 Русский язык・イタリア語 Italiano・スペイン語 Español (ベーシック) :

Hは「エヌ」、Pは「エル」——見事なキリル文字が伝えてくれる言葉の響きはロシアの雄大な大地を連想させるもの。陽気な響きのイタリア語が伝えてくれるものは「歌ごころ」、同じラテンの言葉でもどこか陰影のあるスペイン語にはフラメンコやタンゴがお似合いです。

異文化学習への誘い

外国語を学ぶ事の意義は、実用的な技能を身につける事だけではありません。それを通して世界の人々との交流を深めたり、異なった文化について理解する事も、たいへん重要です。岡山大学では初修外国語関係においても、国内外にまたがる様々な事業や催し事を企画、実施しています。皆さんもこれらに参加してみたいかがでしょうか。きっと貴重な何かを、体験することができますよ！

国際交流 事例紹介：成均館・吉林大学交流プログラム



韓国成均館大学校、中国吉林大学そして岡山大学の三カ国三校の学生が参加し、日本語を基本言語としたディスカッションを通じて互いの文化への理解を深めるプログラムです。2020年度以降はオンラインで実施されています。

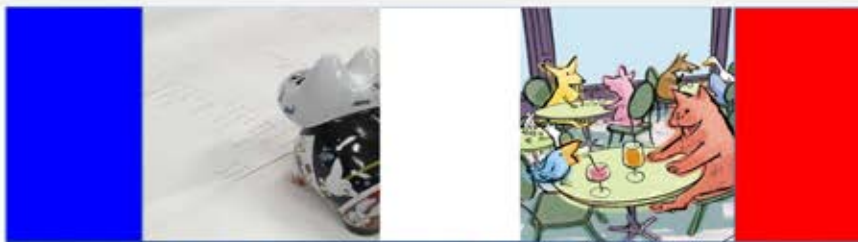
そのほかにも、

成均館大学での夏季韓国語研修(8月)
ルール大学ボームでの夏季ドイツ語研修(9月)
華東師範大学での春季中国語研修(3月)
吉林大学での夏季語中国語研修(9月)
キャンパス・フランス春季フランス語研修(3月)



等が実施され、岡山大学の多くの学生達が参加しています。

初修外国語カフェを、のぞいてみましょう!!



Café français フランス語カフェ

フランス語カフェ「カフェ・フランセ」(Café français)は、フランス語を学びたい話してみたいという学生と、日本の言葉と文化に興味を持つ留学生の交流の場です。フランス語のビデオをみたり、現在の日本とフランスに関する情報交換をしたりしています。

また毎年盛り上がるのがノエル企画(「ノエル」はフランス語でクリスマス)。フランスの御菓子を食べながら、ノエルの雰囲気を再現します。

授業とはちょっと異なる雰囲気のcaféで、フランス語とフランス文化について知識を深めましょう。

Q&A

カフェってなに?

日本語の「カフェ」は、フランス語のcaféが語源。コーヒーを飲みながら、皆でお話する場所も指します。

いつ、どこでやってるの?

毎週火曜日 15:30~17:00
一般教育棟A棟別館 L-café 内

だれがくるの?

フランス語を勉強している人、勉強はしてなくてもフランスに興味のある人、日本に留学中のフランス語圏の学生など岡大生なら誰でもOK。

どんな話をするの?

マンガ、チーズ、恋愛、料理、世界遺産…何でも話題になります。

重要なポイントは、カフェが授業ではないこと。

先生の教えてくれない「悪口の言い方」や言葉遊びなど、生きたフランス語表現を学べます。



韓国語カフェ「이야기(イヤギ)」

「이야기(イヤギ)」とは韓国語で「お話」を意味する言葉です。その名前通り、韓国語カフェ「이야기(イヤギ)」では韓国に興味のある人達が集まって、いつも和気満々した雰囲気でおしゃべりの花が咲きます。

韓国語カフェ「이야기(イヤギ)」には夏の韓国語短期研修プログラム参加者や、半年~1年間の韓国留学を終えて帰ってきた学生達、また韓国人留学生達もたくさんやって来て、韓国語と日本語について質問したり韓国と日本の共通点や違いについて話したりして楽しい交流の時間を過ごしています。

韓国語に自信がなくても大丈夫です。韓国に興味のある人、韓国人と友達になりたい人はぜひ韓国語カフェ「이야기(イヤギ)」にお越しください!



時間: 月曜日16:00~17:30

場所: 一般教育棟C棟4階教員ラウンジ

欢迎你们来中文茶房!! ようこそ、中国語カフェへ!!

火曜日16:00~17:30 L-Café内

内容:

検定対策や授業の予復習から、発音練習、様々な中国文化の紹介まで、参加者の希望に沿った活動を行っています。旅行・留学情報なども入手できます。中国茶を飲みながら、留学生と気ままに歓談しましょう。



ドイツ語カフェ Stammtisch



開店時間: 火曜日 15:30~17:30

場所: 一般教育棟C棟4階
教員ラウンジ

Stammtisch(シュタムティッシュ)とは常連客が囲むテーブルのこと。でもここでは誰もがみんな「常連客」です。最初は「こんにちは:Guten Tag(グーテン・ターク)」から、少しずつ少しずつ、ドイツ語が身近に感じられるようになりますよ。それと同時にドイツ人留学生たちの日本語もめきめき上達してゆきます。それもそのはず、コーヒーや紅茶を飲みながら過ごす「カフェ」は、コトバの違いを超えた「語らいの場」なのです。

